

市議会だより

平成28年
第1回定例会
第251号

平成28年(2016年)
5月25日発行

発行／小金井市議会

〒184-8504 小金井市本町六丁目6番3号

編集／広報協議会

TEL (042) 387-9947(直通) FAX (042) 387-1225

小金井市ホームページアドレス

http://www.city.koganei.lg.jp/



武蔵野公園の野川第二調節池周辺で行われた水防訓練（5月8日開催）

平成28年度

一般会計予算案を否決

4・5月は暫定予算に

第1回定例会の概要

平成28年第1回定例会（篠原ひろし議長）は、2月22日に開会し、3月29日に閉会しました。

平成28年度一般会計予算案を否決
平成28年度一般会計予算は、総額が前年度比約7・7%の増加となる、歳入歳出それぞれ402億400万円を提案されました。審査に当たり、議長を除く全議員で構成する予算特別委員会（鈴木成夫委員長）に付託し、8日間に及ぶ審査を経た後、3月28日の本会議において否決しました。（経過の詳細は2面に掲載）

▼予算審査において集中的に質疑があったのは、次の事項です。
▼市長の公約である公共施設の複合化を踏まえた、福祉会館や市役所庁舎等について
▼職員給与・手当での引上げ条例の提案など、職員人件費と市の財政状況に対する考え方
▼東京都の優先整備路線となっている都市計画道路3・4・1号線、3・4・11号線外の選定経過等について
なお、一般会計以外の国民健康保険、下水道事業、介護保険、後期高齢者医療の4つの特別会計は、原案のとおり可決しました。

議会基本条例を全会一致で可決
本条例は、議会の在り方を定めた理念条例で、小金井市議会が積み重ねてきた議会改革の実績を条例として規定するものです。策定に当たっては、平成23年度から議会運営委員会で議論を行った後、平成25年に全会派の議員が参加する「議会基本条例策定代表者会議」を設置し、以後38回にわたって協議を行い、全議員合意のもとに素案を作成しました。条例案は、3月28日の本会議において上程し、委員会付託を省略し、同日に全会一致で可決しました。

第2回臨時会の概要

平成28年第2回臨時会（篠原ひろし議長）は、3月31日に開会し、4月1日に閉会しました。

第1回定例会において一般会計予算を否決し、当初予算が成立しなかったため、行政運営の中断を防ぐための4・5月分の平成28年度一般会計暫定予算、また、可決した（仮称）新福祉会館建設検討委員会設置に関する条例が市長から再議（※）に付されたことによる再議書などの審議を行いました。

3月31日の本会議において、暫定予算は全会一致で可決し、再議書は第1回定例会の議決のとおり決定することへの賛成者が所定数に満たなかったため、可決は無効となり、条例案は廃案となりました。また、各案件に関する決議も提案され、採決を行いました。（詳細は8面に掲載）

※ 議決に対し異議があるとして、市長が議会に審議のやり直しを求めることで、地方自治法で規定されている制度です。

定例会日誌

- 平成28年第1回
- 〔2月〕
- 22日 本会議（平成28年度施政方針、議案の審議・委員会付託）
- 23日 本会議（議案の審議・委員会付託）
- 24日 厚生文教委員会
- 26日 議会運営委員会
- 28日 本会議（平成28年度施政方針の質疑）
- 〔3月〕
- 1日 本会議（一般質問）
- 2日 本会議（一般質問）
- 3日 本会議（一般質問）
- 4日 本会議（一般質問、議案の審議・委員会付託、議員提出議案の審議・委員会付託、陳情の委員会付託）
- 7日 厚生文教委員会
- 8日 建設環境委員会
- 9日 総務企画委員会
- 10日 予算特別委員会
- 11日 予算特別委員会
- 14日 予算特別委員会
- 15日 予算特別委員会
- 16日 予算特別委員会
- 17日 行財政改革調査特別委員会
- 18日 予算特別委員会
- 22日 資源循環型社会推進調査特別委員会
- 23日 本会議（議案の審議・委員会付託、議員提出議案の審議・採決）
- 25日 予算特別委員会
- 25日 厚生文教委員会
- 25日 建設環境委員会
- 25日 総務企画委員会
- 25日 議会運営委員会
- 28日 本会議（会期の延長）
- 28日 本会議（委員会付託案件の採決、議員提出議案の審議・委員会付託・採決、会期の延長）
- 29日 本会議（議員提出議案の採決、陳情の委員会付託）
- 平成28年第2回
- 臨時会日誌
- 〔3月〕
- 31日 本会議（議案の審議・採決、会期の延長）
- 〔4月〕
- 1日 本会議（議員提出議案の審議・採決）

市議会の本会議・委員会等はユーストリーム及びYouTubeで配信しています。

○USTREAM (<http://www.ustream.tv/channel/koganeishigikai>)
○Youtube (<https://www.youtube.com/user/koganeishigikai>)

審議した主な議案

平成28年度 一般会計予算

2月22日の本会議において予算特別委員会（鈴木成夫委員長）に付託し、3月10日、11日、14日、15日、16日、17日、18日、23日の計8日間、約58時間にわたり審査を行いました。

3月28日の本会議では、組替え動議と修正案が提出されましたが、いずれも否決した後、原案について起立採決の結果、起立少数により、否決しました。

【反対討論】（要旨）

中山克己（自民党小金井）

市長は6施設複合化を進めるため、新福祉会館建設に関する予算を含めておらず、建設を検討し直すのであればスケジューラや財源を示さなければ建設に影響が出る。基本設計等委託も現存する債務負担行為に対応しておらず市長は進捗させる意志がない。早期実現のため要望した関連予算がないため反対する。

【反対討論】（要旨）

水上洋志（日本共産党）

反対の理由の第1は、早期建設が望まれる新福祉会館の建設検討委員会が廃止され、建設の見通しが立たなくなってしまうからである。第2は、子育て環境日本一と言いつつ、就学援助切下げなど市民生活に冷たい予算だからである。第3に、大型開発優先の税金の使い方を直す必要があるからである。

【反対討論】（要旨）

百瀬和浩（リベラル保守）

総人件費の抑制の方針、将来にわたる人件費削減の計画もな

改革に後ろ向きな西岡市長が提案する本予算に反対する。

【反対討論】（要旨）

露口哲治（小金井自民）

新庁舎建設に併せて福祉会館等6施設の複合化案は財源的にも未知数であり、行政決定してきた福祉会館建設計画案と寄付金3億1千300万円の浄財を尊重して早急に建設事業を継承すべきである。また、実質2年間で約3億5千万円の給与引上げを行う予算は、市民感情を逆なでする内容であるため、反対する。

【反対討論】（要旨）

田頭祐子（生活者ネット）

武蔵小金井駅南口第2地区の再開発補助金には反対してきた。庁舎基金の積立や福祉会館の市民検討委員会予算がないなど小金井市民の直面する課題にきちんと向き合っていない。さらに、職員給与・手当の引上げは、いまだ危機的財政難を脱出していない中で就学援助は引き下げるなど、バランスに欠けるものなど。

【反対討論】（要旨）

片山 薫（緑・市民自治）

選挙の争点となった新庁舎建設、福祉会館の代替施設の予算がないのに、武蔵小金井駅南口の再開発と職員給与の引上げに関する経費が計上されている。議会や教育委員会へ説明のない就学援助の認定倍率引下げは弱者間の行革である。前市長とは違う、市民に寄り沿った市政を要望する。

【反対討論】（要旨）

斎藤康夫（市民会議）

本一般会計予算は、職員給与の増額が含まれている。職員給与は、東京都の職員給料表に準拠した上で人事院等の勧告により決定することに加え、市の財政状況を勘案しなければならぬ。小金井市の財政状況は多摩26市で最悪である。歳入構造の

改革に後ろ向きな西岡市長が提案する本予算に反対する。

【反対討論】（要旨）

露口哲治（小金井自民）

新庁舎建設に併せて福祉会館等6施設の複合化案は財源的にも未知数であり、行政決定してきた福祉会館建設計画案と寄付金3億1千300万円の浄財を尊重して早急に建設事業を継承すべきである。また、実質2年間で約3億5千万円の給与引上げを行う予算は、市民感情を逆なでする内容であるため、反対する。

【反対討論】（要旨）

森戸洋子（日本共産党）

経済が落ち込んでいる要因に消費が伸びないことが挙げられている。民間も公務員も社会保障料の負担増などにより可処分所得が減り、消費購買力が落ち込んでいることによる。賃金の引上げを民間も公務員も図ることが必要である。国の制度としての地域手当、人事評価制度の問題はあるが、賛成する。

【賛成討論】（要旨）

宮下 誠（公明党）

人事評価制度の適用拡充を踏まえ、職員の給料月額の設定、勤続手当の年間支給月数の引上げ、地域手当の支給割合の引上げ等を行うため、改正を行うものです。

3月28日の本会議では、起立採決の結果、起立多数により、原案のとおり可決しました。

【反対討論】（要旨）

渡辺大三（リベラル保守）

反対の理由は次のとおり。①市は、民生費、児童福祉費、教育費が26市ワースト1位。②給与大幅増の財源を財政調整基金から捻出。③労使合意は、市長就任後、一週間で調印。④市長は「市役所庁舎問題の決着」「子育て環境日本一」公約の財源計画を明示せず。⑤市長は職員削減を公約するも増加を提案。

【賛成討論】（要旨）

鈴木成夫（市議会民主党）

職員給与は19年連続マイナスで、削減額は40億円以上、直近3年間で5億円以上財源を捻出している。今回の提案は人事院の人事委員会勧告に基づき行うもので、26市で唯一マイナス1%の妥結である。今後は職員人件費削減だけに依存した行革

に決別し、真の行財政改革に取り組むことを要望し、賛成する。

【賛成討論】（要旨）

湯沢綾子（自民党小金井）

人事院勧告を尊重すべきことは制度上の要請であるが、本市の財政状況に鑑みると難しい判断である。ただ、現状を打破するためにこそ不可欠な優秀な人材の確保は他市より目に見えて低い給与条件では望めない。職員は少数精鋭の体制が最善と考え、本件には賛成するが、職員数削減の早急な実現を要望する。

【賛成討論】（要旨）

森戸洋子（日本共産党）

経済が落ち込んでいる要因に消費が伸びないことが挙げられている。民間も公務員も社会保障料の負担増などにより可処分所得が減り、消費購買力が落ち込んでいることによる。賃金の引上げを民間も公務員も図ることが必要である。国の制度としての地域手当、人事評価制度の問題はあるが、賛成する。

【賛成討論】（要旨）

宮下 誠（公明党）

人事評価制度の適用拡充を踏まえ、職員の給料月額の設定、勤続手当の年間支給月数の引上げ、地域手当の支給割合の引上げ等を行うため、改正を行うものです。

3月28日の本会議では、起立採決の結果、起立多数により、原案のとおり可決しました。

【賛成討論】（要旨）

鈴木成夫（市議会民主党）

職員給与は19年連続マイナスで、削減額は40億円以上、直近3年間で5億円以上財源を捻出している。今回の提案は人事院の人事委員会勧告に基づき行うもので、26市で唯一マイナス1%の妥結である。今後は職員人件費削減だけに依存した行革

【賛成討論】（要旨）

鈴木成夫（市議会民主党）

職員給与は19年連続マイナスで、削減額は40億円以上、直近3年間で5億円以上財源を捻出している。今回の提案は人事院の人事委員会勧告に基づき行うもので、26市で唯一マイナス1%の妥結である。今後は職員人件費削減だけに依存した行革

に決別し、真の行財政改革に取り組むことを要望し、賛成する。

【賛成討論】（要旨）

岸田正義（市議会民主党）

新市長は民意を得た公共施設複合化政策を精査する責任がある。その時間さえ認めず前市長の方針を堅持する本条例は、早期建設という目前の課題に捕らわれ、将来的な視点を欠いている。最小経費で最大効果を上げる地方自治の本旨を果たすために今こそ公共施設再配置の問題を決着すべきと考え、反対する。

【賛成討論】（要旨）

板倉真也（日本共産党）

本議案は、本町暫定庁舎敷地に新たな福祉会館建設を早期に着手することを目的としたものである。西岡市長は、いつになったら完成するのか見えてこない6施設複合化方針にこだわるのではなく、「(仮称)新福祉会館建設計画(案)」を基に、検討委員会を直ちに設置し、具体化することを求める。

【賛成討論】（要旨）

鈴木成夫（市議会民主党）

職員給与は19年連続マイナスで、削減額は40億円以上、直近3年間で5億円以上財源を捻出している。今回の提案は人事院の人事委員会勧告に基づき行うもので、26市で唯一マイナス1%の妥結である。今後は職員人件費削減だけに依存した行革

【賛成討論】（要旨）

鈴木成夫（市議会民主党）

職員給与は19年連続マイナスで、削減額は40億円以上、直近3年間で5億円以上財源を捻出している。今回の提案は人事院の人事委員会勧告に基づき行うもので、26市で唯一マイナス1%の妥結である。今後は職員人件費削減だけに依存した行革

【賛成討論】（要旨）

鈴木成夫（市議会民主党）

職員給与は19年連続マイナスで、削減額は40億円以上、直近3年間で5億円以上財源を捻出している。今回の提案は人事院の人事委員会勧告に基づき行うもので、26市で唯一マイナス1%の妥結である。今後は職員人件費削減だけに依存した行革

閉会中の委員会日程及び審査案件

総務企画委員会

- 4月22日(金) 午前10時
- ▶小金井市市民参加条例の一部を改正する条例
 - ▶第二庁舎の取得に関する陳情書
 - ▶第二庁舎を地主から買い取らないことを求める陳情書
 - ▶東部地域への市政センターの設置を求める陳情書
 - ▶財政援助団体の適正な運営の確保に関する陳情書
 - ▶新入職員を消防団に研修配属することを求める陳情書
 - ▶消滅の危機に瀕する言語の保全及び継承を求めることに関する陳情書
 - ▶公共施設の再配置及び庁舎建設に係る諸問題の調査

厚生文教委員会

- 5月9日(月) 午前10時
- ▶義務教育課程における平和教育に係る課題図書に関する陳情書

- ▶障がい表記へ改めることに関する陳情書
- ▶2025年問題に向けて地域包括ケアシステム構築に関する諸問題の調査
- ▶子どもに関する諸問題の調査

建設環境委員会

- 5月12日(木) 午前10時
- ▶小金井市道路行政の正常化を求める陳情書(2)
 - ▶小金井市道路行政の正常化を求める陳情書(3)
 - ▶都市整備部長は市民と市議会に対し、公正な資料に基づき、曲解することなく誠実に対応することを求める陳情書
 - ▶駅周辺の開発・整備に係る諸問題の調査
 - ▶小金井市の環境政策推進に係る諸問題の調査

行財政改革調査特別委員会

- 5月13日(金) 午前10時
- ▶行財政改革に係る諸問題の調査

資源循環型社会推進調査特別委員会

- 5月16日(月) 午前10時
- ▶廃棄物の3R(リデュース=発生抑制・リユース=再使用・リサイクル=再生利用)を推進し、循環型社会を構築するための調査

議会運営委員会

- 5月17日(火) 午前10時、5月30日(月) 午後2時
- ▶小金井市議会事務局職員数及び市議会議員定数の削減に関する陳情書
 - ▶小金井市議会における審議時間、資料要求数の削減に関する陳情書
 - ▶教育長の選任同意にあたって、採決前に、候補者の考えを確認すること等を求める陳情書
 - ▶議会改革に関する諸問題の調査
 - ▶①次期定例会(臨時会を含む。)の会期及び会議日割等、議会運営に関する調査 ②議会の会議規則、委員会条例等に関する調査 ③議会運営に関する議長の諮問事項について

各案件に対する討論の原稿は、議員が作成しています。

平成28年度施政方針に対する各会派の質疑(日曜議会)

※原稿は市長の答弁も含めて各議員が作成しています。

自由民主党 小金井市議団

中山 市長の目指すグランドデザインは、基本計画との整合性は、

市長 ふるさと小金井の新しい時代を築き上げるためのビジョンを策定したい。基本計画は大変重要なもので、整合をきちんと図りつつ私が掲げているものについて、更にその先を見据えたグランドデザイン作りに取り組みたい。詳細は現在検討中で、具体的な取組は適切に必要な時期に示したい。

中根 東京オリンピック・パラリンピックに向け、武蔵小金井駅から味の素スタジアムまでのバス路線開通の際、利用者を通過させるだけでなく小金井に結びつけ経済効果も得たい。市長の考えは、

市長 利用者を小金井市の観光に結びつけるための取組は極めて重要で、観光協会、商工会、農業者団体等と連携を強め、しっかりと

小金井市議会 民主党

鈴木 市長の公約の3つの柱が施政方針にどう反映されていくのかを伺う。①「市民幸福度向上ナンバーワン」について。②「市民と職員が対話できる市役所づくり」について。③「市民参画で策定する小金井デザイン」について。

市長 ①市民と行政との対話を通じ、市が抱える諸問題乗り越え、笑顔があふれる小金井市となるよう着実に歩みを進め、できるものはこの1年間でスピードを上げてやっていきたい。②市役所で仕事をしている約千人の方々が本気で意識改革を行い、対話を重視すれば、市政は大きく変わると確信している。③目指しているのは、計画の先を越えていく未来を考えることであり、今何が課題か市民と行政が互いに向き合い議論することで見えてくる。その取組が市政の課題解消につながると思う。

と考えていきたいと思っている。

湯沢 市長は「子育て環境日本一」を目指すとしているが、具体的にどのような内容になるのか。

市長 平成29年4月の保育所待機児童ゼロの達成、学童保育の待機児童ゼロの維持、学校給食での地場野菜の活用推進に取り組む。

湯沢 待機児童ゼロは子育て環境の最優先課題。給食への地場野菜の使用推進は私も前から要望してきた。是非お願いしたい。

吹春 ①スポーツ推進計画を関係団体と協力し策定するとはどのような計画か。②チャレンジデーに過去の経験はいかされるか。具体的に今と違う点はあるか。

市長 ①週1回以上スポーツをする市民の比率を目標設定する。教育委員会とも協力し市民、議会の声もいかし作り上げたい。②初勝利を目指したい。内容は鋭意検討する。オール小金井で取り組む。

遠藤 ①全庁一丸となった行政改革を進めていく覚悟は。②都市農業を守るため、切れ目のない支援を。③子どもたちの自己肯定感、自尊感情の向上を。

市長 ①第2次小金井市人材育成基本方針のキーワードを大切に進めていく。②小金井市農業振興計画により、農業者支援を進める。③道徳科の授業の充実と、褒めて認める思いやりの心を育てていく。

こがねい市民会議

斎藤 西岡市長は、①小金井市の財政状況の問題点について、どのように捉えているのか。②固定資産税・法人市民税の改善のため、一例で良いから具体策を示すべき。

市長 ①歳入は、法人市民税・固定資産税を高める必要がある。歳出は民生費や教育費を確保する必要がある。②貴重な税金の市民への還元率を向上するよう、議会、市民、職員と力を合わせていく。

小金井市議会 公明党

紀 ①都市農業推進基本法が制定され、緑地の保全や防災からも農地の役割は大きい。都市農業とまちづくりのバランスをどう実現するのか。②都市計画道路(第四次事業化計画案)への市民の不安に対し、説明会を開催しないか。

市長 ①国や都の動きに注視し、地の保全に努めていきたい。②東京都の事業であり、東京都が主体的に判断するものと考えている。

宮下 市長は、「基礎的自治体の使命は住民福祉の向上である」との内容を繰り返して述べている。大事なことは、自治体の使命という表現ではなく、市長自身が住民福祉の向上を自らの使命だと自覚をしているかどうかだが、見解は、

市長 基礎的自治体の使命である以上、市長の自覚としても住民福祉の向上が極めて重要だという

リベラル保守の会

百瀬 ①新たな歳入の確保、歳入構造の改善をどのようにするのか。②特定緊急輸送道路の沿道建築物で、都市計画の変更で耐震化が困難になった物件に対しては、行政が積極的に解決を目指すべき。

市長 ①小金井の魅力発信し、働く世代、若い世代の定住人口の増加を目指す。②所有者の責任と判断において実施されるよう、最大限、支援、補助に努める。

渡辺(大) ①市長は職員削減を公約して当選したが、何人の正規職員を削減するのか。②6施設の複合化で、市庁舎や福祉会館の建設を先送りすることは許されない。緊急性が高い市庁舎と福祉会館の複合建築を優先すべきではないか。市庁舎は床面積縮減を。

市長 ①現時点で軽々に明確な目標値は言えない。②6施設の複合化を目指していきたい。

思いは当然持っている。

小林 ①平和に対して子どもたちが主体的に取り組むことができよう、平和サミットを開催しないか。②市内の大学、高校、中学校の音楽、弦楽クラブを一堂に会した音楽祭を開催し、文化芸術活動を推進しないか。③「いじめゼロ」への認識について確認する。

市長 ①是非、研究したい。②学校現場の意見も頂きながら研究したい。③全力で取り組む。

渡辺(ふ) 福祉会館は障がい者や高齢者等71団体が登録し、年間9万人以上の利用者が完成を待っている。①平成31年度の完成を約束していた市民に対し、説明会の開催を。②いつ完成するのか。③福祉会館以外の施設を複合化しては、

市長 ①複合化案で民意を頂いた。しかるべき時期に直接対話する。②現時点では示せない。③6施設複合化の検証が自分の責任だ。

日本共産党 小金井市議団

森戸 昨年成立した安保法制は、憲法違反との声が広がっており、市議会でも2年間で5本の意見書が可決された。市長は安保法制に反対するとアンケートに答えているが、廃止を求めているか。

市長 安保法制は合憲か違憲か両論あることは認識している。国において議論されるべきものである。一地方自治体として反対する立場ではない。

関根 都市計画道路問題について、市長が市民の意見を聴く場を持ち、市民の意見を酌んで、反対の立場を東京都に表明すべきでは、

市長 東京都の事業として都が独自に決定したものであり、施行路線の選定について市が判断できる立場にない。頂いた意見等も参酌しつつ、環境に配慮しながら、東京都の事業として都が独自に判

生活者 ネットワーク

田頭 ①食品の放射能の影響は半減するのに30年かかる。市民測定事業の必要性、継続について伺う。②玉川上水沿いのヤマザクラの整備と共に、排ガスの影響や毛虫の被害から桜を守ってきた多様な樹木との共生も考えないか。

市長 ①老朽化に伴う代替機器も検討したい。継続して取り組む。②ケヤキと桜の共存が極めて難しい。何もしないと桜が枯死する。

林 ①都市計画道路の第四次事業化計画案と本市の各種計画との整合性と、市民への説明について伺う。②平和の日記念行事について、子どもも含めた幅広い市民とともに企画を行わないか。

市長 ①東京都が独自に決定し、市が判断する立場にない。個別の事前説明会開催はないと聞いている。②子どもたちに平和の尊さを伝える取組は行っていきたい。

断されるものと認識している。

板倉 福祉会館を含む公共施設の複合化は、いつまでに見通しを立てる考えか。一定の方向性を6月議会に示すべき。

市長 6施設の複合化について、その実現性等を検証していく庁内組織のプロジェクトチームを立ち上げ、議論を進めていきたい。検証期間は現時点で申し上げる状況にはない。検証を進める中で、その他の方策も考えていきたい。

水上 平成29年4月に待機児童ゼロの実現を図ることを掲げているが、今年度、待機児童をゼロにするために、保育所の増設などをどうするのか。

市長 4月の待機児童の状況を確認し、必要な施策については迅速に対応していきたい。今後の保育園の開設に際しては、必要な追加予算を補正予算として提案することになる。

小金井自由民主

露口 宮地楽器ホールのある武蔵小金井南口第1地区I-III街区では、地権者間の管理規約が結ばれていない。農業祭や阿波おどり大会の際、ホールとフェスティバルコートとの一体利用に難がある。開館5周年記念行事に当たり、地権者と管理規約締結の話し合いを。

市長 管理規約が結ばれていないことで大きな支障はないと感じているが、締結に向けて努力する。



一般質問 (5面～7面) 3月1日～4日

※原稿は市長部局の答弁も含めて各議員が作成しています。

会派の略称

(自民党小金井)	自由民主党小金井市議団	(生活者ネット)	生活者ネットワーク
(日本共産党)	日本共産党小金井市議団	(緑・市民自治)	緑・市民自治こがねい
(公明党)	小金井市議会公明党	(市民会議)	こがねい市民会議
(市議会民主党)	小金井市議会民主党	(小金井自民)	小金井自由民主
(リベラル保守)	リベラル保守の会		

小金井市の防災に対する取組について

吹春やすたか(自民党小金井)

(ア)上級救命講習を非常勤職員含む市の全職員を対象にできないか。普通救命講習やAED講習も検討をしないか。(イ)大災害発生の際、小金井市消防団と東京消防庁災害時支援ボランティアでの連携活動は検討できないか。(ウ)消防無線は、5月でアナログ波が廃止される。消火活動など迅速な対応を要求される小金井市消防団の団員への、デジタル受令機の配置を検討できないか。

総務部長 (ア)上級救命講習は正規職員の8割が受講済みである。未受講者の受講も図っていききたい。紹介された講習も検討したい。(イ)現状は未定であるが、合同訓練なども視野に入れ、消防署と協議していききたい。(ウ)いち早く緊急情報を把握することの重要性は認識している。予算や団員の要望などを聴取し、検討していききたい。

■その他、都施行の都市計画道路について質問しました。

住民追い出し・自然破壊の道路建設に反対

関根優司(日本共産党)

(ア)市民行政協働で守ってきた武蔵野公園のはけの自然を破壊する今回の2つの都市計画道路計画について、小金井市議会の議論では、市側も議員も「あんなところに道路はつくれない」という共通認識があり、過去に建設環境委員会において、他市に都市計画の変更に関する視察まで行ってきた。東京都に対し、議会のこれまでの議論の到達は伝えられたか。(イ)大阪では終戦直後に計画が作られた都市計画道路を280路線廃止し、京都では105路線廃止しているが、都はほとんど廃止しない。都の方針はおかしいのでは。(ウ)住民の意見を聴き、市長はこの道路計画に反対すべきでは。

都市計画課長 (ア)都市計画マスタープランの内容は伝えていく。(イ)都は都市計画道路をつくらせていく方針である。

市長 (ウ)市民の意見を都に伝えたい。

今後の待機児童対策と学童保育の未来を問う

岸田正義(市議会民主党)

①待機児童対策について。(ア)平成27年10月現在の待機児童数は。(イ)北部地域に認定こども園を作るべき。(ウ)所得階層に応じた認可、認可外保育園の格差是正の取組を。

子ども家庭部長 (ア)195人。(イ)北側地域に平成29年4月開設に向け着実に進めていく。

市長 (ウ)助成金月額千円増を提案。受益者負担見直しの財源活用で格差を解消する。

②学童保育全入制の継続は、子供を真ん中に置いて議会も行政も保護者も関係する大人が知恵を合わせて取り組むべき喫緊の課題。(ア)既に167人の乖離があり、予測を見直すべき。(イ)臨時的ではなく抜本的な対処が必要。放課後子ども教室の拡充など放課後の居場所のビジョンを早急に議論すべき。

子ども家庭部長 (ア)現状把握を行い早急に大規模解消に向け対応を進めていく。

市長 (イ)全入制の維持、子どもの居場所づくりには教育委員会に協力を求めていく。

高齢者が生き生き暮らせる施策の充実を

水上洋志(日本共産党)

①新年度から廃止されるひとりぐらし高齢者会食会とさくら体操が存続できるよう、対策を求める。説明をしっかりと行うべき。

福祉保健部長 会食会は福祉会館閉館に伴い、見直した。体操は10月からの総合事業の開始に伴い、従来の介護予防事業の見直しを行う。周知と説明に努めたい。

②総合事業によりサービスが切り下げられないよう求める。(ア)要介護認定の権利を保障すべき。(イ)ボランティアやコーディネーターの充実を。(ウ)介護職員の処遇改善を。

福祉保健部長 (ア)利用者が認定申請を希望すれば拒否できない。(イ)研修については東京都健康長寿医療センターの助言を受けて検討し、地域包括支援センターなどと連携していく。(ウ)都の施策も活用し、介護人材の確保に努めたい。

■その他、東小金井駅へのバス路線新設を求めました。

地方交付税の歳入の影響について問う

中山克己(自民党小金井)

平成27年度の普通交付税は基準財政収入額が基準財政需要額を上回ったため、本市は不交付団体となった。歳入への影響は。また、地方交付税法に基づく交付のため市の努力によって交付されるものではないが、危機的な財源不足、厳しい財政状況の状態のまま不交付団体であることを認識して今後の財源確保に努めていただきたい。

企画財政部長

地方消費税交付金が多く交付されること等から不交付団体となり、臨時財政対策債は起債の発行ができなくなった。基準財政需要額の算定基礎となる単位や補正係数が毎年度のように改定されるため、影響額の経常的な把握は難しい。

■その他、「東京オリンピック・パラリンピックに向けたキャンパ地招致活動」「小金井市のふるさと納税の現状と推進」「地方創生総合戦略の今後」「電力自由化への今後の取組」について質問・提案しました。

道路計画と障がい者スポーツについて問う

露口哲治(小金井自民)

①(ア)都市計画道路小金井3・4・1号線の完成により、連雀通りの危険な狭い道路の通行車両を減らし、緊急時の輸送道路や火災時の延焼遮断効果が期待できると考えるが、見解は。(イ)一部ではあるが、国分寺崖線の緑の景観や湧水への影響が懸念されるという意見もある。市の見解を問う。

都市整備部長

(ア)連雀通りの狭隘な部分に都市計画線がないことや、既に堅い建物があるため、道路拡幅による安全対策は難しい。(イ)具体的な計画は今後であるが、周辺の緑や自然に配慮した施工法及び構造を選定するよう、都へ伝えていく。

総合体育館や栗山公園健康運動センターでの障がい者スポーツ事業への取組は十分配慮されているか。

生涯学習部長 指定管理者の自主事業は、現状不十分かと思う。重要性は認識しており、講習会や研修の成果をいかしていく。

「茶の湯文化」発信等五輪を発展の起爆剤に

宮下 誠(公明党)

①作法にのっとりお茶を楽しむだけでなく、茶室や掛け軸、工芸品、お菓子に至るまで、広い意味で茶の湯文化、茶道は日本文化を凝縮していると言える。日頃、江戸東京たてももの園に多くの外国人が訪れており、東京大茶会等の行事と合わせて観光ツアーを行うなど、取組を始めてはどうか。

市民部長

茶道は、市外からの来訪者、特に外国人の心をつかむツールとして、市にとっても大変魅力的な要素である。市の大きな行事では、現在、文化連盟の活躍により様々な茶席が設けられている。茶道以外にも市の魅力は様々あり、年5回の茶席の開催に合わせた観光ルート拡充など、観光協会と相談して実現できるよう努力する。

東京五輪は開催までが全てではない。

市民部長 既存の地域資源なども活用しながら、拡充・実現できるよう検討したい。

献血の推進で支え合いのまちづくりを

小林正樹(公明党)

①血液は長期保存がきかない。また、輸血の80%以上はがん治療や血液疾患治療などで使われ、多くの市民が恩恵を受けている。(ア)命の授業で取り上げないか。(イ)イベントでのワークショップや、まなびあい出前講座など、啓発の工夫ができないか。

学校教育部長

(ア)校長会等を通じて情報提供や啓発をしたい。

福祉保健部長 (イ)関係機関と調整検討したい。より良い啓発に努める。

平成22年度から学校のICT化が進んできた。多摩市愛和小学校では1人1台のタブレットが支給され、学習効果が出ている。小金井市でもタブレット導入の促進とICT授業の充実をしないか。

学校教育部長 有用性は国と都と同じ見解である。導入に向けて研究をしたい。

■その他、市長の掲げるグランドデザインについて確認をしました。

人と動物が共生するまち小金井を

渡辺ふき子(公明党)

①増え続ける飼い主のいない猫対策について。(ア)窓口の明確化など、市の取組は進んでいるか。(イ)他市を参考に、避妊・去勢手術に対して補助金を導入しないか。

環境部長

(ア)環境政策課を窓口にして、市民ボランティア登録制度や、捕獲機の貸出し等の体制整備をしているほか、飼い主のいない猫セミナーの後援をしている。(イ)まずは市民ボランティアと土台作りをしたい。

災害時におけるペットの救護体制やペット同行の避難訓練について広報すべき。

総務部長 市の総合防災訓練において、獣医師会による動物救護対策訓練が実施されている。さらに広報啓発したい。

③市内の小学校で「子どもが自分で作るお弁当の日」を実施し、食に感謝する心、自立して生きる力を養うべき。

学校教育部長 実施に向けた課題はあるが、今後試行に向けて努力したい。

市の魅力創出と共生社会 実現のビジョンは

鈴木成夫(市議会民主党)

①市の魅力創出と発信を推進しないか。
市長 小金井の坂や様々な歴史的的魅力等、小金井のあるもの探しに全力を挙げ、それを市民と行政で共有し、発信していきたい。

②「地域がいのちを守るまち小金井」構築に向け、消防団員確保の課題は何か。
市長 災害や事故発生時、市職員の団員が経験をかかして人命救助に当たった例もある。是非積極的に入団していただきたい。

総務部長 団員確保に向けた取組では、多くの市民が集まる機会を捉え、団員募集や活動のアピールをし、市内事業所や大学への働きかけも必要と考えている。

③共生社会実現に向けた市のビジョンは。
市長 障がいのある方もない方もともに暮らせるまちを目指していくべきと考えている。大規模災害時に支援や配慮が必要な市民の見守りでは、地域がいのちを守る近助と共助の領域を大切にしていきたい。

市内中小事業者の 支援策拡充を

板倉真也(日本共産党)

①市長が都議会議員時代に決意された公契約条例の確立に向けて、リーダーシップを発揮していただけると期待してよいか。
市長 都議会議員時代の私の主張、自分の考えは決して消えたわけではない。板倉議員と近い思いを共有している部分が多々ある。しかし、小金井市というこの市政の中にどう位置付けていくかについては、検討が必要だと思っている。

②住宅リフォーム助成制度を前倒しで実施するか、少なくとも平成29年度の当初からスタートさせるべきか。
市長 住宅政策の現在の喫緊の課題は、特定緊急輸送道路の耐震化、木造住宅の耐震化によって、災害時の市民の身体・生命・財産を守ること。住宅リフォーム制度については、引き続き検討していきたいと考えている。

妊娠期から子育てに わたる切れ目のない支援

紀 由紀子(公明党)

①(ア)東京都の出産子育て応援事業を活用し、妊娠期から出産、子育てにわたる切れ目のない支援を提供するため、育児パッケージの配布を行わないか。(イ)妊娠や子育て中の保護者が、安心して出産や子育てができるように、タイムリーな情報をメールで届ける子育て応援メールを実施しないか。(ウ)ネウボラの一環として、訪問型の支援(ホームスタート等)を行わないか。
福祉保健部長 (ア)慎重に検討する。

市長 (イ)前向きに検討する。(ウ)地域で支え合う子育てに取り組んでまいりたい。

②地域防災拡充のために消防団活動の更なる推進を。(ア)消防団員へのより安全な防火衣の支給を急がないか。(イ)綾部市の女性消防団は、火災予防の広報活動を中心に活動していた。女性消防団員を登用しないか。
総務部長 (ア)支給を加速していきたい。(イ)検討してまいりたい。

庁舎建設予定地の 蛇の目跡地の土壌調査を

遠藤百合子(自民党小金井)

①新庁舎建設の際、各種法令に照らし、予定地である蛇の目ミシン工場跡地の土壌調査が必須だと考える。(ア)土壌汚染対策法に照らした市の考え方は。(イ)土壌調査の実施予定等は。
環境部長 (ア)東京都の指導により、状況調査を行う段取りになると考えている。

庁舎建設等担当部長 (イ)法的なそこがないよう、整理していく。

②女性消防団の創設と、本団付けで広報部門を担当させていく考えはないか。
総務部長 各種のご意見を伺いながら、女性消防団が活躍できるように検討したい。

③女性の働き続ける社会を後押しするテレワーク(在宅勤務)の推進を。
市民部長 新しい取組のため、商工会と相談し、関係機関とも協力して研究したい。

■その他、児童生徒の心身充実を図るための教育長の臨む姿勢について質問しました。

投票率の向上とシチズン シップ教育の充実を

林 倫子(生活者ネット)

女性が参政権を獲得して以来71年ぶりに公職選挙法が改正され、投票権が18歳にまで拡大された。これを契機に、投票率向上のための方策が検討され、高校で主権者教育を行うための副教材が作成・配布されている。本市での取組について伺う。(ア)投票率向上のために行ってきた施策について。(イ)大学構内での期日前投票所の増設について。(ウ)小中学校でシチズンシップ教育の取組を行わないか。

選挙管理委員会事務局長 (ア)選挙公報の音声版発行について、市議選までの実現に向けて努力したい。(イ)市内大学と連携して学生が関心を持つのは有意義と捉えているが、選択肢の一つとして研究したい。

学校教育部長 (ウ)小中学校では、基礎基本を身に付けさせることが肝要と考える。■その他、自殺対策強化のための計画づくりを求めました。

はけを壊す都市計画道路 について見解を問う

百瀬和浩(リベラル保守)

都市計画道路3・4・1号線及び3・4・11号線について市民とどう向き合い、都に対して自治体の長としてどういう意見を出していくのか。都市計画マスタープランの目指すべき将来像の実現に向け、都に対して市の立場を明確にする必要がある。

都市整備部長 2つの路線は都が決定したもので、市は判断する立場にはないが、各方面から寄せられた意見は都に伝えていく。都においては、今後適切な対応が図られるものと認識している。

市長 この2路線はいずれも国分寺崖線を通る路線であり、市の大切な財産であるはけの環境や景観等への影響に配慮が必要になるものだと思う。都に対してはこうした状況も踏まえ、市民、市議会等の意見、要望を的確に伝えていく。

■その他、新庁舎建設と公共施設の再配置計画について質問と提案をしました。

民生委員・児童委員、 欠員地区の解消を

中根三枝(自民党小金井)

先日、市内で事故に遭った一人暮らし高齢者から、民生委員に相談したいとの連絡を受けたが、欠員地区であった。全国的に欠員地区が増加している。平成10年度は千898人、平成15年度は2千145人、平成20年度は3千677人、平成25年度が6千783人と欠員が増えており、なり手不足が大きな課題となっている。本市でも平成26年3月発行のわたしの便利帳に17人の欠員が掲載されている。民生委員に光を当て、社会全体が委員の方を向くことにより欠員解消につながるべきかと考える。(ア)現在の欠員数は。(イ)欠員をどう認識しているか。(ウ)人材育成は。

福祉保健部長 (ア)民生委員法に基づく84人が定数で、今年度は9人委嘱するも、まだ12人欠員の状況である。(イ)相談者の増加や問題の複雑化・多様化等に伴って委員の負担が増している。(ウ)委嘱時に職務説明をし、都主催の新任研修や現任研修を行う。

美しいまちへ

湯沢綾子(自民党小金井)

まちの顔である駅前で派手な原色の看板等が使用されると、水と緑という本市のイメージに影響があるので、色彩の規制がでないかという提案を以前からしてきた。多くの人に住みたいと思ってもらえるまちにするためには、自然の豊かな名所をピンポイントで考えるだけでなく、駅前を始め市内全体を調和のとれた美しい景観に誘導していく必要がある。例えば、近隣のある市では、ごみ置き場は位置やデザインを配慮する、駐輪場や駐車場は植栽をして目隠しするなど、目指す景観をイラスト入りで詳細に具体化し、協力を呼びかけている。

市長 その地域の特性にあった景観づくりに取り組んでいるまちは多くあり、大切な視点だと思ふ。本市の景観行政について、ランドデザインの中で議論したい。

分け隔てない、共生社会 の実現を目指そう

田頭祐子(生活者ネット)

①岡山県総社市では、市長が障がい者千人雇用を掲げ、3年間で720人の就労につながった。(ア)市内の障がい者の福祉就労は42人就労していない方の実態は。(イ)農業との連携や、コンビニ、駅構内などの地域連携は。

福祉保健部長 (ア)障害者就労支援センターで就労準備支援や施設連絡会を行い、状況把握に努めている。(イ)農福連携は、就労へのステップアップとして検討したい。

②(ア)特別支援が必要な子どもでも、希望すれば通常学級で学べるか。(イ)子どもが安心して相談に飛び込めるよう、教室や職員室の窓ガラスは透明にしないか。

指導室長補佐 (ア)保護者、学校、教育委員会会の共通理解のもと、保護者や介助員等が付き添うなどケースごとに対応している。学校教育部長 (イ)困ったときには一番相談しやすい大人に相談するよう指導している。透明な窓ガラスの導入は検討したい。

野川とはけを壊す道路 計画、市の意志を問う

坂井えつ子(緑・市民自治)

1962年に計画決定された道路計画が、54年を経た今、10年以内に着手する優先整備路線に選定された計画案が昨年末に公表された。(ア)方針が決定すれば、直接影響を受ける市民への説明が必要ではないか。(イ)10年後、20年後の野川やはけのあるべき姿は。(ウ)国分寺市や世田谷区では、まちづくりの姿勢を示したことで、道路計画の見直しが行われている。市長の意志を問う。

市長 (ア)都の事業なので、説明会も都が行うべきもの。市としての説明は困難。(イ)市民に親しまれる大切な小金井の憩いの場であるべき。(ウ)はけや野川は、小金井市の特徴であり、文学的にも意味深い場所であることは知っているが、都施行路線なので、市は判断する立場にない。市民や議会の意見は都に伝えていく。

■その他、投票率アップ、音声の選挙公報、市ホームページ改善について質問しました。

児童保育問題、福祉会館と公民館はどうなる

片山 薫(緑・市民自治)

①(ア)さらば児童保育所の運営が、委託から直営に戻る理由は、(イ)子どもに負担のない体制を、(ウ)第三者機関による検証を、(エ)子ども家庭部長(ア)事業者から辞退された。(イ)ベテランを配置する。(ウ)考えてない。

②(ア)福祉会館の仮移転と利用者の状況は、(イ)公民館事業と利用者の状況は、(ウ)16ミリ市民映画会の継続は、(エ)市民と協働して講座のアーカイブ化を、(オ)市民検討委員会で公民館と福祉会館の在り方の議論を。

福祉保健部長 (ア)第二庁舎や民間事務所等を検討している。利用者とは個別相談。

生涯学習部長 (イ)事業の見直しについては企画実行委員会、公民館運営審議会です承済み。活動中止団体はない。(エ)検討する。

公民館長 (ウ)意見として伺う。

市長 (オ)庁内での協議を踏まえ検討する。その他、生活困窮者に対する支援充実と庁内連携を求めました。

都市計画の変更で歳入構造の改革を

斎藤康夫(市民会議)

(ア)小金井市の固定資産税の税収が少ない理由は、課税面積が少ないことと、都市計画の遅れである。都市計画の見直しによる歳入構造改革という、私の提案に対する見解を求める。(イ)選挙公報によると、6施設複合化は一例であり、「市民の皆さんと決定する」というのがマニフェストなのか。

企画財政部長 (ア)今後、徴収率の向上と駅周辺の整備により、歳入構造の見直しへ積極的に取り組む。また、地域創生総合戦略にて、長期的に移住・定住へつなげることに、反響的効果を狙う。

市長 (ア)税収を上げるために用途地域の変更をすることにはならない。住民の発意もない。駅周辺の再開発で、将来的な税収構造の改善を目指す。(イ)マニフェストではなく、「小金井らしいオンリーワンのプランを提案し、市民の皆様と決着します」が一般的に言う選挙公約と理解している。

公共施設管理計画と市役所建設について問う

森戸洋子(日本共産党)

市全体の公共施設の管理計画を策定中であるが、(ア)国は総量抑制を求めている。目標の設定をするのか。(イ)公共施設を減らすことによって、市民サービスを低下させないようにはすべきではないか。(ウ)小中学校の老朽化が深刻だが、実態調査と改修の計画を策定しないか。(エ)市役所等の6施設複合化案では、図書館と福祉会館の面積が不足していないか。67億円の総費用も図書館のコスト高の建設単価を含んでおらず、実際より低く見込んでいないのか。

企画財政部長 (ア)国の指針に沿うものとして計画をまとめた。イ)サービスの視点も踏まえて、十分に留意したい。

学校教育部長 (ウ)平成32年度までに個別計画の策定を進めていく。

市長 (エ)面積は試算のためのベースであり、今後の検討課題。建設単価は考慮に入っていない。

公約だった6施設集約 就任した途端「一例」

渡辺大三(リベラル保守)

(ア)市長は「6施設集約」との選挙公約を、施政方針では「一例」と表現した。選挙後、就任した途端に「一例」とするに至った経緯は、(イ)6施設を蛇の目ミシン工場跡地に「集約」するのが公約だったのか、「複合化(一つの建物)」するのが公約だったのか。(ウ)市長はプロジェクトチームを立ち上げ「検証する」というが、お役人に判断を委ねて、市民の出番はないのか。

市長 (ア)これは議論の「たたき台」ともなる、実現したい政策の一つである。(イ)「複合化」が公約である。(ウ)プロジェクトチームは、庁内の検討である。しかるべき時期に市民と意見交換する場をつくりたい。

「6施設複合化」とは、本庁舎、第二庁舎、福祉会館、図書館本館、前原暫定集会所、本町暫定庁舎の機能を一つの建物に入れて蛇の目ミシン工場跡地に建設するという、西岡市長の選挙公約である。

請願・陳情の審議結果

付託先	議決結果																							
	自吹	自湯	自山	自遠	共中	共水	共関	共板	公森	公渡	公小	公紀	公宮	民岸	民百	リ渡	ネ林	ネ田	緑坂	緑片	改篠	会齋	小齋	
福祉売店「りんくの家」に関する陳情書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国に対し、「保育料負担軽減、保育士の処遇改善、認可保育所増設のための緊急対応と財源確保を求める意見書」提出を求める陳情書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談の出来る窓口などの設置を求める陳情書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
都市計画道路小金井3・4・1号線及び3・4・11号線外の整備方針(第四次事業化計画)(案)に関する陳情書	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市庁舎及び福祉会館の建設スケジュールに関する陳情書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
都市計画道路3・4・1号線及び3・4・11号線外の優先整備路線確定前に、市民を交えた議論の機会の設置を求める陳情書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
はげの保存のために、都市計画道路3・4・1号線及び3・4・11号線外の優先整備計画の見直し・変更を東京都に求める陳情書	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小金井市民間保育所等に対する小金井市補助金の安定した財源確保と公私間格差是正を求める陳情書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小金井市福祉会館の早期建設を求める陳情書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小金井市立図書館取扱い図書の規制の強化並びに都に有害図書の定義の広汎化及び例規の改正を求める意見書の提出に関する陳情書	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
市役所正規職員の削減を求める陳情書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市職員の地域手当引き上げに反対する陳情書	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
日野市石田地区における日野市・国分寺市・小金井市三市共同による新可燃ごみ焼却施設建設計画の中止を求める陳情書	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

はげの保存のために、都市計画道路3・4・1号線及び3・4・11号線外の優先整備計画の見直し・変更を東京都に求める陳情書

賛成討論(要旨)

関根優司(日本共産党)

今回4千筆の署名が短期間に集まった。市内の具体的道路交通問題は、連雀通りの狭隘部分も東町の南北交通問題も、はげの自然を破壊し、多くの住民を追い出し、巨額の税金を投入する道路建設ではない方法で、安全を図りうるもの。住民追いの事業化計画はやめさせるべき。

賛成討論(要旨)

林 倫子(生活者ネット)

まず、本陳情に4千500筆もの署名が集まった事実を重く受け止めるべきだ。「現在でも、野川にそそぐ湧水は暗渠を通っている」との指摘があるが、これでいい、としているわけではない。後の世代に私たちが残すべきは、道路とそれを建設するための負債ではなく、豊かな自然である。

賛成討論(要旨)

坂井えつ子(緑・市民自治)

野川やはげを積極的に守り、市民と対話を重ねてまちづくりを行っていかねばならない。「優先整備路線は都が独自に選定したもので、市は判断する立場になり」との認識は、地方自治を放手したと言える。署名をした4千500人、一人ひとりの意志を重く受け止め、計画の見直しを都に求めるよう強く要望する。

請願・陳情に対する討論
続きは8面に掲載



小金井市はGPN会員として
印刷のグリーン購入に取り組んでいます

この議会報は再生紙を使用しています。※ごみ減量と資源の再利用にご協力ください。
この印刷物は、植物性インキ(石油系剤を利用するかわりに植物油を溶剤としたインキ)を使用しています。

